

立花 オミナ
PRESENTED BY SHIMAPAN



女性専用マンションに 若い男は僕一人

-The Only Man in a Ladies' Residence-



ちよっと…
待って…!!

え…
どうしてえ?

ぐちゃっ

あ

ギシ

ぐちゃっ

は

ん

ぐちゃっ

ド

ド

ド

また…
出ちゃ…
あうっ…!!

何度も
シてるのに
なかなか
慣れませんね♡

そんなことじゃ
女の人を満足
させられないわよ?
今のうちに
私たちで特訓
しておきなさい♡

ん

だ

ドキ

お

ん

ん

は

ぐちゃっ

は

ぐちゃっ

ん

ぐちゃっ

我慢してる
顔可愛い…♡

ん

ギシ

ギシ

ギシ



樹さんは
ちよつと早漏
ですけど…♡

さあ次は
ワタシの
番ですよ♡

すぐに
回復できるのは
エライです♡

沢山エッチの
練習が
できますね♡

ダメよ
ソフィアさん♡

そ…
それは…

フン♡

千代子さんと
どっちが
イイですか？

あ…ああ…
ソフィアさん…
気持ちいい…

樹くんを
困らせちゃ♡







お疲れ様…♡

今日もたくさん
エッチの練習
できたわね♡

は…はい…
気持ち…
よかったです…

あとは
もうちょつと
我慢強くなれば
いいんだけど…♡

まあまあ♡
樹さんよく
頑張ってますヨ♡

今日もご褒美に
お掃除して
あげますネ♡

うう…あ…

そんなことしたら
この子
またしたく
なっちゃうわよ…♡



僕にできる
でしょうか…

大丈夫よ

そのために
沢山特訓して
きたんだから♡



さて…
来週はいよいよ
新しい入居者が
来るわよ

んんっ…

いよいよ
オープン
ですネ♡



可愛い子…♡

貴方が
年上好きで
よかったわ♡

あ…あ…

需要と供給が
マッチして
ますね♡



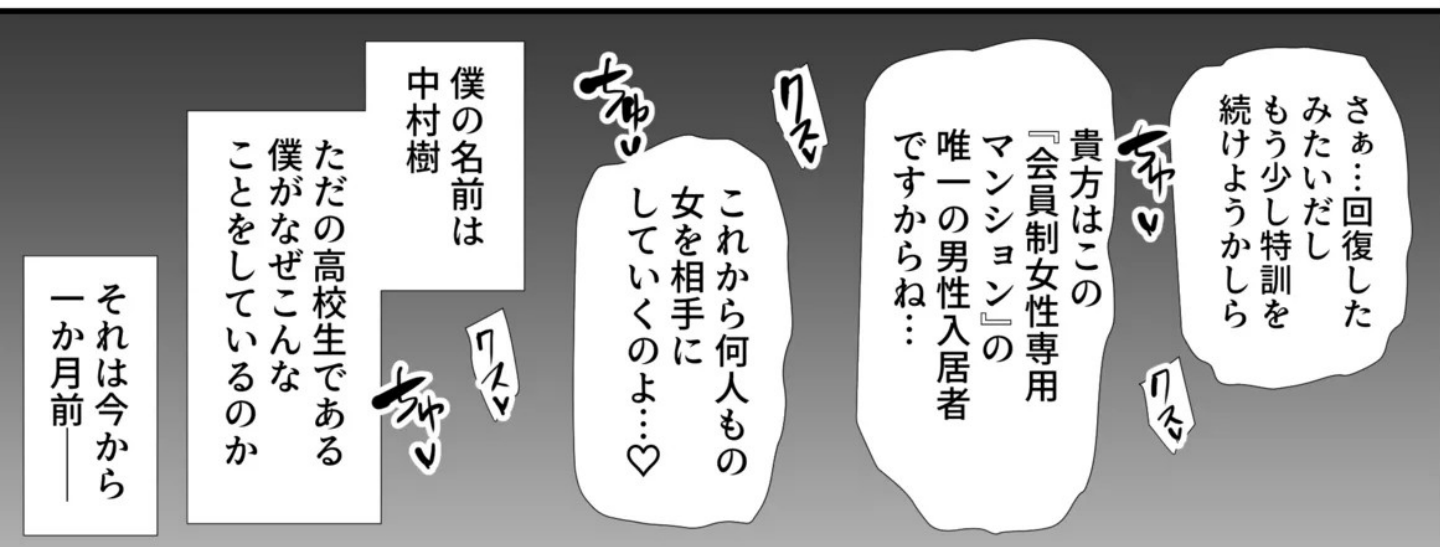
3人相手に
1人で何時間も
エッチできる
なんて才能だわ♡

そう…
なんですか…?

僕…すぐ
出しちゃう
のに…

でもすぐ
勃起させて
くれるじゃない♡

こんなオバサン
相手に嬉しい
ですネ♡



さあ…回復した
みたいだし
もう少し特訓を
続けようかしら

貴方はこの
『会員制女性専用
マンション』の
唯一の男性入居者
ですからね…

これから何人もの
女を相手に
していくのよ…♡

僕の名前は
中村樹

ただの高校生である
僕がなぜこんな
ことをしているのか

それは今から
一か月前

本当に
久しぶりね
樹くん

はい…

最後に会ったのは
小学生の頃かしら？

それがもう
高校生だなんて
すっかり
大きくなっちゃって

…もしかして
緊張してる？

あ…いえ…

ふふ
照れ屋なのは
相変わらずね

これからは
一緒に暮らすんだし…

自分の家だと
思ってくつろいでね

昔はあんなに
遊んであげたんだから

気なんて使わず
リラックスしてくれて
いいのよ？

彼女の名前は
鈴木千代子

歳の離れた親戚で
数年前に旦那さんを亡くし
今は残された遺産で
不動産の経営をしている

しばらく疎遠だったが
高校入学のため
一人暮らしを
考えていた時に
彼女から連絡をもらった

最近建てたマンションが
通学先に近いので
一緒に住まないかと…

ただ受けた理由は
何も通学のため
だけじゃない

家の中もすごく
良い匂い…

まさか
千代子さんと
2人暮らし
できるなんて…

千代子さんは
僕の初恋の人で
今でもその想いは
続いている…

それじゃ
家の中を
案内しましょうか

は、はい
よろしく
お願いします！

広くて
綺麗なお家
ですね

そうでしょ？
なにせ新築
ですからね

入居者も募集中で
まだまだ少ないの

そうそう
私の友達も
2人住んでるから

あとで
紹介するわね

は…はい！

ほとんど
人が住んでいない
マンション…

そんなところで
千代子さんと
新生活を…

どうしたの？
そんな
じろじろ見て

えっ!?

今日の
お洋服そんなに
変かしら…?

何だか昔より
ずっと綺麗に
なってるし…

いけないと
わかってるけど
変な気持ちに…

いえ
久しぶりに
あったので
つい…

ふうん…?

ドキッ





僕の家…

本当に
今日から
ここで一緒に…

あら？

その漫画
懐かしいわね

最新刊？
まだ続いていたのね

!?

昔一緒に
読んだのを
思い出すわ



あら

もしかして
もう来たのかしら

助かった…

ドキ

ドキ



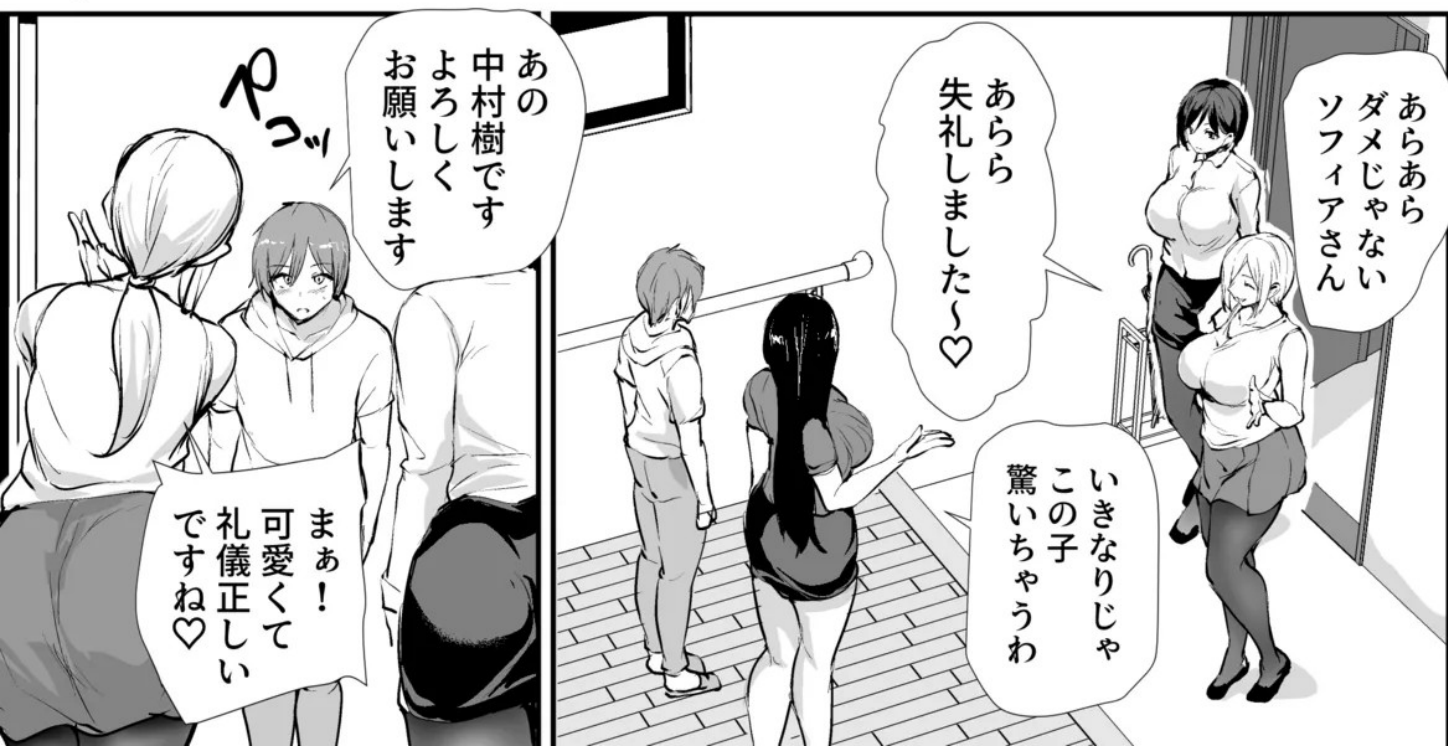
当たってるの
気付いてない…!?

ど…どうしよう
そんなこと
されたら…



キエウウウ

な…む…胸!!
千代子さんの…!!



失礼しました♡

ワタシは
ソフィア・ストランド

仕事の都合で
今はここに
一人暮らし
しています♡

スウェーデンから
国際結婚で日本に
来ました♡

よろしく
お願いします…

桜井美咲…です

高校で
数学の教師を
しています

千代子さんは
同じ大学の
先輩でした

千代子さんと…

後で挨拶に
行くつもり
だったのに…

それが
ソフィアさんに
突然誘われて…

いや、
待ちきれなかった
ですからね、

2人とも
千代子さんと
同じくらい
美人で…

目のやり場に
困っちゃう…







じゃあ3人が
知り合ったのは
ネット上で
だったんですね

そうなんですよ

私は日本語の
勉強のために
いたんですけど

2人ともとても
よくしてくれて



あ…僕も
オンラインでその…

ゲームとか
好きだから…
そこでは
友達もいます…

おう
樹さんは
ゲームが得意
なんですね

私も好きですよ！
今度一緒に
やりましょ♡

あらあら
すっかり
打ち解けたわね



たしか美咲さんも
そういうの
好きでしたよね？

グイ

ええ…まあ…

え…そう
なんですか？

昔からの
趣味なので…

ソフィアさんは
明るく陽気で
沢山話しかけてくれる

会話が苦手な
僕にとって
とても有難い人だ

美咲さんは
クールで口数も
少ないけど…

意外とオタクな
タイプっぽく
親近感が湧く

2人ともいい人で
本当によかった…

ただ…

さっきから
何度も
胸が当たって…

気付いていない
んだろうか…?

どうしよう…
席を立ちたいけど…

千代子さん
おかわり
ありますか…?

今立ったら…

あらまた？
今日は
いっになく
飲むわね

めでたい
日ですの〜♡

仕方ないわね



さて……

樹さん

樹さんは
千代子さんの
どんなところが
好きなんですか？

ええっ!!
いきなり
何を……

隠しても
無駄ですよ♡

会った瞬間に
わかりました♡

あれは恋をしている
少年の目です♡



わかりますよ
千代子さん
素敵ですものね♡

美人で優しい
大人の女性で
スタイルも良いです♡

アサッ
えっ

でも歳の離れた
樹さんでも
惚れさせるなんて
凄いですね♡

あっ……それとも
元々年上の女性が
好きなんですか？

いや……あの……

あるいは
巨乳の人が
好きとか？

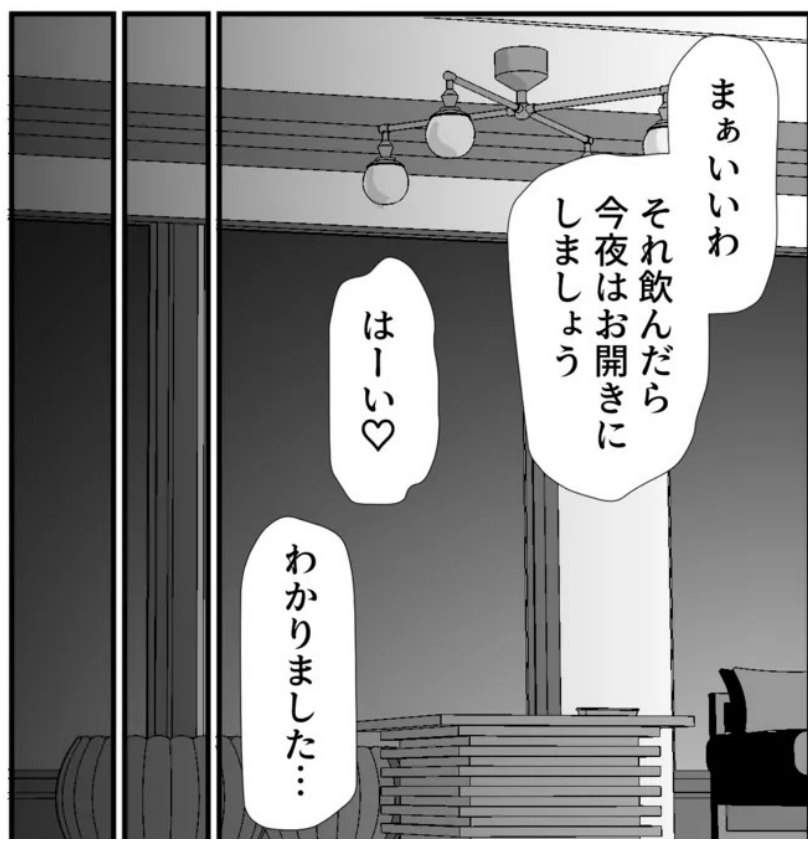
それなら
私たちも候補に
なりますね♡



顔を真っ赤に
してるってことは
図星ですか♡

ち……ちが……

もしかして
2人とも
酔っぱらって……？





……僕は何を
考えているんだろう

あんな言葉
真に受けて…

こんな夜中に
訪ねるなんて…

でも…もし…

もし
本当なら……

ソフィアさん…

はっい♡

ガ
キ
ャ
ッ

来てくれた
んですね♡



私が人妻だと
知ってても
来てしまった…

その性欲に
抗えない若々しさ…
素晴らしいです…♡



あ…あの…
僕…

いいんですよ
何も言わなくて♡



ふふ♡
もう我慢
できませんか？

それでは
ベッドルームに
案内しますよ♡

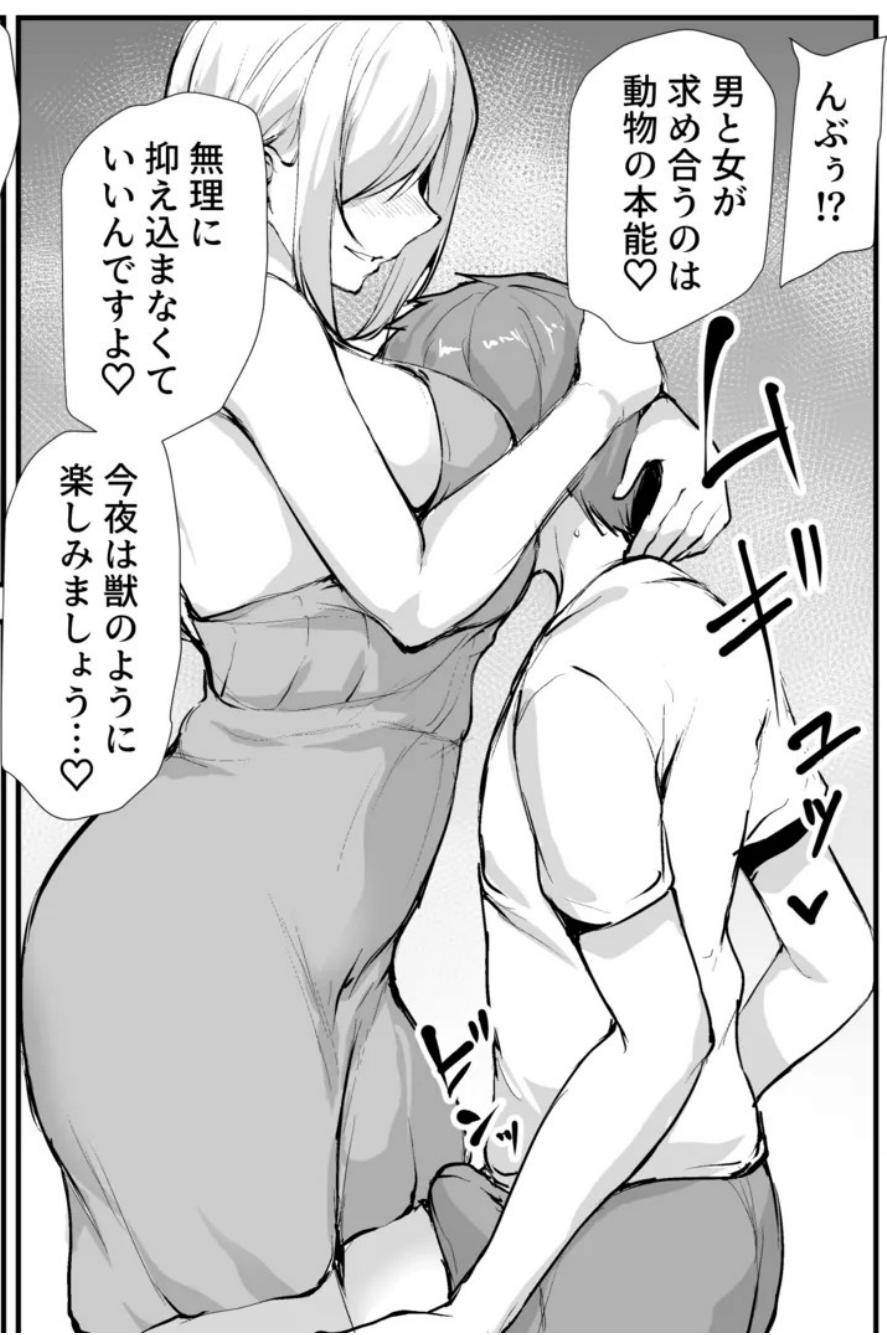
…は…はい



うう…ごめん
千代子さん…

でもこんな
状況じゃ…

お二人とも
お待たせしました♡



んぶう!?

男と女が
求め合うのは
動物の本能♡

無理に
抑え込まなくて
いいんですよ♡

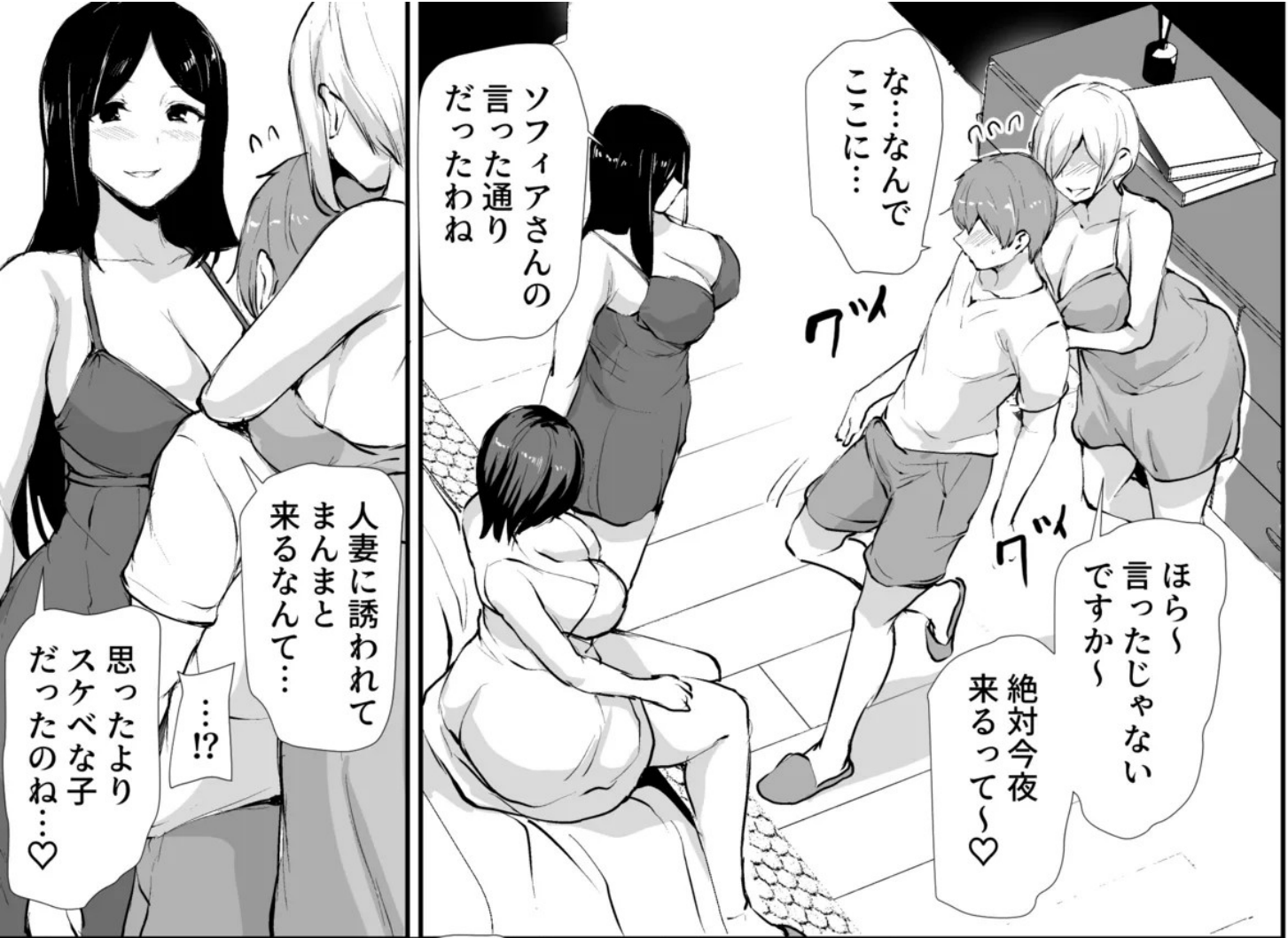
今夜は獣のように
楽しみましょう…♡



美咲さんも…!?

あらあら…
本当に来ちゃう
だなんて…

千代子さん…!?





みんな
貴方とエッチを
するため…♡

欲求不満で
溜まりに溜まった
私たちを…♡

貴方1人で
満足させて
ちょうだい…♡

!?



ふふ…♡

おっ…
すっかり大きく
してますね…♡

本当に僕が
3人と…!?

まどか…









初めてなら
仕方ないですね♡

あ…

チュッ♡

チュッ♡

あ…

いいわよ♡

一度スツキリ

セッ
やさせなさい♡

あ…♡

わあ…♡

♡♡♡

いっぱい
出しましたね…♡

お掃除して
あげる…♡

あ…ああ…
そんな…





やっぱり
刺激が強すぎた
かしら？

でも
もうちょっと
頑張って…♡

そうですね
樹さん♡

ほら…おっぱいも
もっと触って♡

大好きでしょう♡

どう…？
柔らかい？

はっ…はい！

せっかくの
初めてなんだから
味わってください♡

ふっ♡





ほ…本当に
出しちゃった…

はぁ

ふふふ…♡

はぁ

私も
中出しなんて
されたの
初めて…♡

ハァ

えっ…!!?

すごい
気持ち
よかったわよ…♡

ハァ

おやおや♡

はぁ

はっ



もうこんなに
大きくしちゃって♡

ドキッ

やっぱり
中出しは
興奮しちゃう
んですね♡

う…

それならすぐ
続きが
出来そうね

アッ

あらあら♡

じゃあ
休憩なしで
いこうかしら♡

は♡♡



それじゃ
樹さん…♡

今度は
2人同時に
相手して
みましょうか♡

2人っ…!?

3Pや4Pするなら
必須のスキル
ですからね♡

ゴルン

ギシッ



ちゃんと
2人を公平に
相手して

はやく
はやく♡

満足させて
あげるのが
大事よ♡



大丈夫
私がサポート
してあげるわ

うう…

すぐに
イッちゃ
だめよ?





も...もうイツ...
イツちやいます...!!

ダメよ
我慢がまん♡

あっ♡

あっ♡

そんなんじや
女を満足させ
られないわよ♡

ああっ♡



樹さん...♡
初めての
バックなのに
お上手ですよ♡

あっ♡

それじゃ
そろそろ交代♡

次は
美咲に...♡

良かったわね♡
褒めてもらえ
たわよ♡

ああっ♡



優しく
入れてね…

樹くん…

ドキ
ドキ

はっ…はい!



グッ
グッ

グッ
グッ



途中で射精
しちゃダメよ?

う…ああ…

男の子
なんだから
耐えなさい♡



グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ



ダメよ
樹君…♡

うっ…

美咲さん…!?

私にも精液
ちょうだい…♡

あ…あ…

ギシッ

ま…また
出ちゃう…

あらあ♡
やっぱり
出来るんじゃない♡

もう…♡
それなら
もっと
頑張っ♡

そうですよ
樹さん♡

大勢にこんなに
求められるなんて
滅多にないんですから♡

で…でも
体力が…



結局この日は
気を失うまで
3人とエッチし…

目が覚めた時には
自室のベッドで
眠っていた…

翌日

樹さん
昨日はよく
眠れましたか？

は…はい…

それは
良かったです♡

これで2人で
じっくり特訓
できますね♡

あっああ…

やっぱり
初めてで3人は
ハードでしたものね♡

最初の練習には
私が付き合っ
てあげますよ♡



あの…なんで
僕なんですか…？

出会ったばかりで
こんなこと…

おやおや
美咲さんから
まだ聞いて
ないんですね…？

じゃあ
わけもわからず
エッチしてた
んですか♡

まあそんなに
深い理由は
ありません♡

単にわたしたちは
年下の男の子が
好きな集まりで

仲良しどうし
このマンションに
集まってきた
わけです

そこで一人の
男の子を
皆でシェアして…

あ…イキそう
ですか？

じゃあ話は
この辺で…♡

あ…あ…





ごめんなさい…

まさか帰ったら
貴方が待ってて
くれるなんて…



う…嬉しくて
興奮しちゃって…

やっぱり…
このままで
いいかしら…?



美咲さ…







それって…

うっ…!?



今日は
2人きり
だから…

色々
試したいの…♡



美咲さん…!?

急に
締め付けが…!!



ちよっと
力んだだけなのに…♡

可愛い反応
するのね…♡

そん…な…
うああ…!!

私でいっぱい
特訓してね…♡



とても…
気持ちよかったです…

うっ…

2人との
エッチは



それで…
どうだった？

ちゅぽ…



でも…
2人としての
想像してたら…

あう…！

私もなんだか
妬けちゃって…♡



純粹に2人とも
仲良くなって
ほしいから
ああして会って
もらったのよ

フスッ

そう
よかった♡

エッチの
訓練も大事だけど

ドキ
ドキ

ちゅぽ…

ちゅぽ…

そう…
だったんですね…

ありがとう
ございます



だから
特別なこと
してあげる♡

あ…あ…





貴方とこんな
ことが出来る
ようになるなんて♡

ほんと…
夢みたい♡

あっ…ああ…!!

ぼ…僕もです…!!

千代子さんのこと
ずっと好き
だったから…

まあ嬉しい…♡



私もずっと
好きだったのよ♡
だから貴方のために
このマンションを
作ったの♡

本当はみんなの
ためじゃなくて
貴方のため…♡

えっ!?

毎日毎日…♡

代わる代わる
色んな女と
セックス…♡

うっ…うう!!

夢みたい
でしょう?



想像したら
興奮しちゃった？

可愛い子…♡

でもこれじゃあ
まだ他の女性の
相手はできないわね…

明日から
特訓しないとね…♡

えっ!!

それから…

僕は毎日
千代子さんたち
3人と代わる代わる
セックスをした…

朝は千代子さんの
フェラで目を覚まし

その後は
そのまま
セックスに
なだれ込む…

千代子さんが
仕事を始めるまで
何度も何度も…

日が沈むまで
ひたすら
セックスの練習…

色々と教えて
くれたけど
僕はされるがまま
搾り取られた
だけだった…

お昼は
ソフィアさんの
家にお邪魔し…

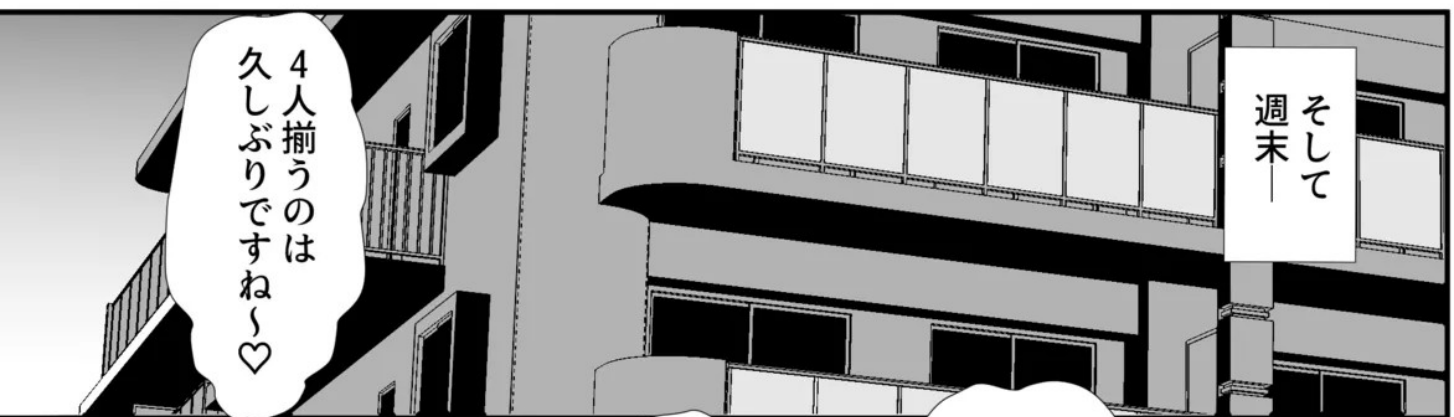


美咲さんは
目隠ししたり
道具を使うのが
好きみたいで…

普段のクールな
印象とのギャップで
僕はより興奮
してしまった…



夕方は帰宅した
美咲さんと…



そして
週末—

4人揃うのは
久しぶりですね♡



おやおや
もう準備万端
ですね♡

ふふふ♡
若いわね♡
いいわね♡

今日は沢山
サービスして
あげる…♡



私たちも
ドキドキ
してるのよ♡

えっ

だってこんな
恰好でエッチなんて
初めてですもの♡

キゅん
ほら…♡

あ…あわわ…

んんん♡

ドキドキ
聞こえるかしら？

キゅん

あらあら
固まっちゃった…♡

樹さん
どうですか♡

いざ♡

息が荒い…

興奮してるのね…♡

それじゃあ
ローションを
追加して…♡

ふふ♡

ギン

キゅん

んんん♡

フンッ
あ…あ…
だ…だめ…

可愛い♡
女の子みたいな
声出してる♡

はぁ♡

もう…
そんなんじや
最後まで
出来ないわよ？

ほら
舌出して♡
う…

樹さん
よかった
ですね♡

あわわ…

もうすっかり
カチカチ
ですね♡

じゃあ
入れちゃおっか♡

力抜いて
樹くん…♡



ねえ、まだ
イツちやだめ♡

あ…あ…
千代子さん…

イキそうに
なったら
交代するからね♡



んっ♡
ガクガク
震えてる♡

かわいい…♡

えっ♡
もう交代？



さあ
次はワタシの番
ですよ♡

まだまだ
我慢よ
樹君♡

千代子さんとの
違いを味わって
くださいね♡

ふふ♡
どうですか？

ゆっくり
出し入れも
気持ちいい
でしょう？

おっともう
イキそう
ですか？

まだまだ
修業が
足りませんね♡



次は私…

いつも2人で
してるみたいに
リラックスして…

緊張すると
勃ちが
悪くなるからね…♡

へえ、
2人きりだと
違うんですね♡

あ、もしかして
イッちゃった？

もう
いけない子…♡

これは
オシオキが
必要ですね♡



あぁっ♡
気持ちいい…♡

えっ…!?

それじゃあ…
オシオキの
内容はあ…♡

私たちが
いいって言うまで
射精我慢すること♡

言ったでしょ…
これは特訓だって…♡



私たちは
面接みたいな
ものです…♡

もっと
色んな人と
セックス
するために…♡

経験を
沢山積んで
ください♡

うう…



ガッ

はあっ

はっ

樹さん
今度は長続き
してますね…♡

んっ
グッ
グッ

んっ

千代子さん…!!

僕…もう
限界です…!!

はあっ

ダメよー
私たちが
イイって言うまで
射精はお預け♡

ズッ

うっ…

ズッ

ズッ
ズッ

頑張ってる顔…
とっても
可愛いわよ
樹くん…♡

あともう一周
したら許して
あげるから
頑張るなさい♡



は…早く
射精させて
ください…!!

我慢
我慢…♡

気持ちよく
射精できるように…♡

んっ♡

トト♡

ソフィアさん
まで貯めて
おきなさい♡

うう…
美咲さん…!!

私も
気持ちよすぎて
手加減できないの♡

目いっぱい
締め付けちゃうね…♡

ごめんね
樹くん…♡

うううう…!!





はっ...

はあっ...

それじゃ
最後は...♡

私が
ぜくんぶ
搾り取って
あげる♡

すっごく
気持ちいい
わよお...♡

すっごく
気持ちよさそう...♡

ほおら
良く出来ました♡

ここまで
頑張った
ご褒美よ♡

やーん♡
可愛い顔♡

う...あああ...!!



樹君...♡
全部出しきって♡

も...もう
出ません...

そう...♡

私も...
満足したわ...♡



よく
頑張りましたね…♡

今日はこの辺に
しておこうかしら…♡

明日も
ありますからね…♡

これからも
毎日気持ちいい
ことしましょうね♡

そうね…
明日も明後日も…♡



ふふ…♡

おやすみなさい
樹君…♡

フム



後書き

お買い上げありがとうございます。立花オミナです。

今回は総集編を除くと、実に一年ぶりの新刊となりました。

本当は夏から秋くらいには出したかったのですが
今年は色々とありすぎて冬の時期に出すことになってしまいました。

さて、今作は新シリーズということで
女性専用マンションで居住者全員と関係を結ぶ話にできたらと考えています。

過去の商業作品でも似たようなものを書きましたが、あちらに比べると規模は抑えめです。
それでも最後まで実現したら、結構な人数になりますが。

一応続けられるように終わらせましたが実際のところ反響次第なのでどうなるか…
…とりあえず祈っておきます。

今年はバタバタしていましたが
2026年はもう少し落ち着いて新刊を出していきたいと考えています。

直近だと、支援サイトで更新しているシリーズのまとめ本、
次に異世界新作という流れで、夏までにはやっていきたいと思っています。

次こそは年2冊以上出せるようにしたいですね。身体壊さない程度に頑張ります。

それではまた次回の作品でお会いしましょう。
ありがとうございました。

立花オミナ

奥付

女性専用マンションに -The Only Man in a Ladies' Residence- 若い男は僕一人

2025年12月24日 第1刷初版発行

著 者 立花オミナ
©Omina Tachibana 2025

発 行 しまぱん
連絡先 shima-pan@hotmail.co.jp
印刷所 西村謄写堂

各種リンク



表紙着色 たつか (Do well!!!!)
デザイン 水瀬 修 (DROP DEAD!!)

●無断転載・ネットアップロード・18歳未満の閲覧を禁止します。
この物語はフィクションであり、実在の人物・団体とは関係がございません。



立花 オミナ
PRESENTED BY SHIMAPAN



女性専用マンションに 若い男は僕一人

-The Only Man in a Ladies' Residence-



ちよっと…
待って…!!

え…
どうしてえ?

ぐちゃっ

あ

ギシ

ぐちゃっ

は

ん

ぐちゃっ



また…
出ちゃ…
あうっ…!!

何度も
シてるのに
なかなか
慣れませんね♡

そんなことじゃ
女の人を満足
させられないわよ?

今のうちに
私たちで特訓
しておきなさい♡

我慢してる
顔可愛い…♡





あうっ…♡

あっ…♡

樹くん…♡

もっど…

ああっ♡

おっぱい…
揉んでえ…♡



うう…♡

相変わらず
感じやすいわね
美咲は…

あっ…ぐ…
締め付けが…!!

その調子
ですよ
樹さん♡

は…はい…





お疲れ様…♡

今日もたくさん
エッチの練習
できたわね♡

は…はい…
気持ち…
よかったです…

あとは
もうちょっと
我慢強くなれば
いいんだけど…♡

まあまあ♡
樹さんよく
頑張ってますヨ♡

今日もご褒美に
お掃除して
あげますネ♡

うう…あ…

そんなことしたら
この子
またしたく
なっちゃうわよ…♡



僕にできる
でしょうか…

大丈夫よ

そのために
沢山特訓して
きたんだから♡



さて…
来週はいよいよ
新しい入居者が
来るわよ

んんっ…

いよいよ
オープン
ですネ♡



可愛い子…♡

貴方が
年上好きで
よかったわ♡

あ…あ…

需要と供給が
マッチして
ますね♡



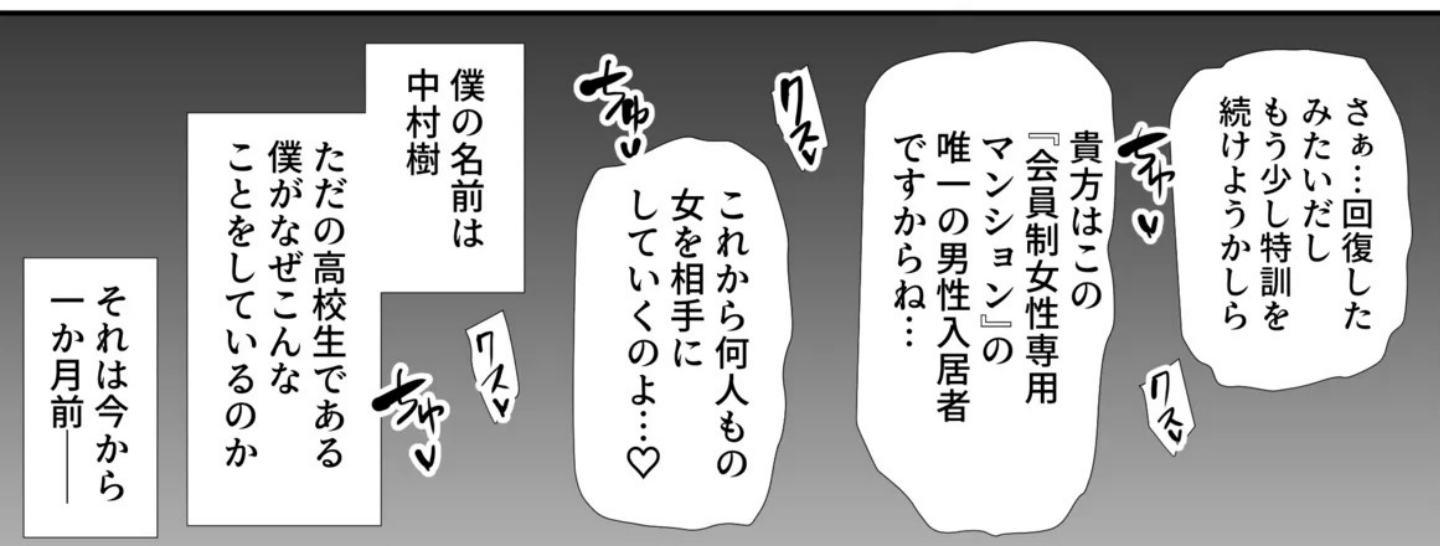
3人相手に
1人で何時間も
エッチできる
なんて才能だわ♡

そう…
なんですか…?

僕…すぐ
出しちゃう
のに…

でもすぐ
勃起させて
くれるじゃない♡

こんなオバサン
相手に嬉しい
ですネ♡



さあ…回復した
みたいだし
もう少し特訓を
続けようかしら

貴方はこの
『会員制女性専用
マンション』の
唯一の男性入居者
ですからね…

これから何人もの
女を相手に
していくのよ…♡

僕の名前は
中村樹

ただの高校生である
僕がなぜこんな
ことをしているのか

それは今から
一か月間――

本当に
久しぶりね
樹くん

はい…

最後に会ったのは
小学生の頃かしら？

それがもう
高校生だなんて
すっかり
大きくなっちゃって

…もしかして
緊張してる？

あ…いえ…

ふふ
照れ屋なのは
相変わらずね

これからは
一緒に暮らすんだし…

自分の家だと
思ってくつろいでね

昔はあんなに
遊んであげたんだから

気なんて使わず
リラックスしてくれて
いいのよ？

彼女の名前は
鈴木千代子

歳の離れた親戚で
数年前に旦那さんを亡くし
今は残された遺産で
不動産の経営をしている

しばらく疎遠だったが
高校入学のため
一人暮らしを
考えていた時に
彼女から連絡をもらった

最近建てたマンションが
通学先に近いので
一緒に住まないかと…

ただ受けた理由は
何も通学のため
だけじゃない

家の中もすごく
良い匂い…

まさか
千代子さんと
2人暮らし
できるなんて…

千代子さんは
僕の初恋の人で
今でもその想いは
続いている…

それじゃ
家の中を
案内しましょうか

は、はい
よろしく
お願いします！

広くて
綺麗なお家
ですね

そうでしょ？
なにせ新築
ですからね

入居者も募集中で
まだまだ少ないの

そうそう
私の友達も
2人住んでるから

あとで
紹介するわね

は…はい！

ほとんど
人が住んでいない
マンション…

そんなところで
千代子さんと
新生活を…

どうしたの？
そんな
じろじろ見て

えっ!?

今日の
お洋服そんなに
変かしら…?

何だか昔より
ずっと綺麗に
なってるし…

いけないと
わかってるけど
変な気持ちに…

いえ
久しぶりに
あったので
つい…

ふうん…?

ドキッ





僕の家…

本当に
今日から
ここで一緒に…

あら？

その漫画
懐かしいわね

最新刊？
まだ続いていたのね

!?

昔一緒に
読んだのを
思い出すわ



あら

もしかして
もう来たのかしら

助かった…

ドキ

ドキ



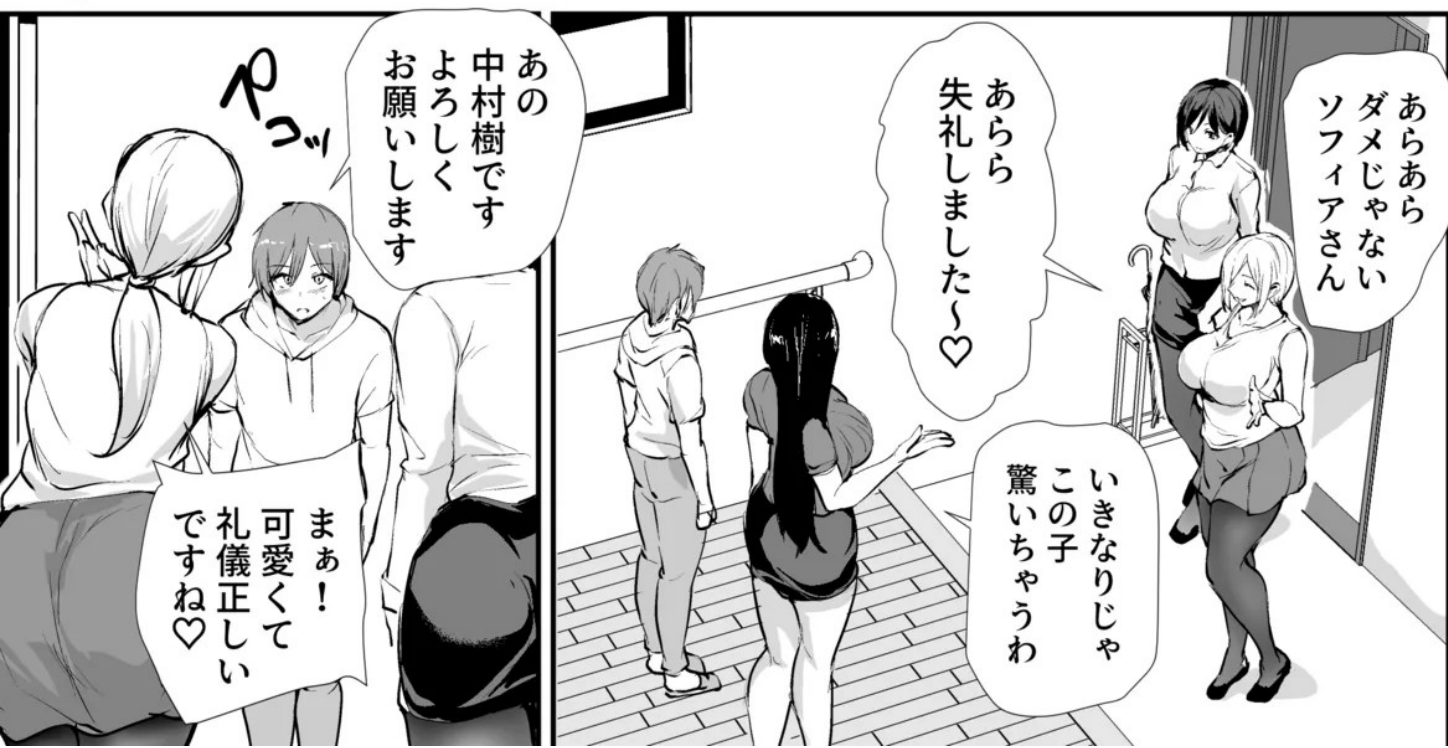
当たってるの
気付いてない…!?

ど…どうしよう
そんなこと
されたら…



キエウウウ

な…む…胸!!
千代子さんの…!!



失礼しました♡

ワタシは
ソフィア・ストランド

仕事の都合で
今はここに
一人暮らし
しています♡

スウェーデンから
国際結婚で日本に
来ました♡

よろしく
お願いします…

桜井美咲…です

高校で
数学の教師を
しています

千代子さんは
同じ大学の
先輩でした

千代子さんと…

後で挨拶に
行くつもり
だったのに…

それが
ソフィアさんに
突然誘われて…

いや、
待ちきれなかった
ですからね

2人とも
千代子さんと
同じくらい
美人で…

目のやり場に
困っちゃう…







じゃあ3人が
知り合ったのは
ネット上で
だったんですね

そうなんですよ

私は日本語の
勉強のために
いたんですけど

2人ともとても
よくしてくれて



あ…僕も
オンラインでその…

ゲームとか
好きだから…
そこでは
友達もいます…

あらあら
すっかり
打ち解けたわね

おう
樹さんは
ゲームが得意
なんですね

私も好きですよ！
今度一緒に
やりましょ♡



たしか美咲さんも
そういうの
好きでしたよね？

グイ

ええ…まあ…

え…そう
なんですか？

昔からの
趣味なので…

ソフィアさんは
明るく陽気で
沢山話しかけてくれる

会話が苦手な
僕にとって
とても有難い人だ

美咲さんは
クールで口数も
少ないけど…

意外とオタクな
タイプっぽく
親近感が湧く

2人ともいい人で
本当によかった…

ただ…

さっきから
何度も
胸が当たって…

気付いていない
んだろうか…?

どうしよう…
席を立ちたいけど…

千代子さん
おかわり
ありますか…?

今立ったら…

あらまた？
今日は
いっになく
飲むわね

めでたい
日ですの〜♡

仕方ないわね



さて……

樹さん

樹さんは
千代子さんの
どんなところが
好きなんですか？

ええっ!!
いきなり
何を…

隠しても
無駄ですよ♡

会った瞬間に
わかりました♡

あれは恋をしている
少年の目です♡



わかりますよ
千代子さん
素敵ですものね♡

美人で優しい
大人の女性で
スタイルも良いです♡

アサッ
えっ

でも歳の離れた
樹さんでも
惚れさせるなんて
凄いですね♡

あっ…それとも
元々年上の女性が
好きなんですか？

あるいは
巨乳の人が
好きとか？

それなら
私たちも候補に
なりますね♡

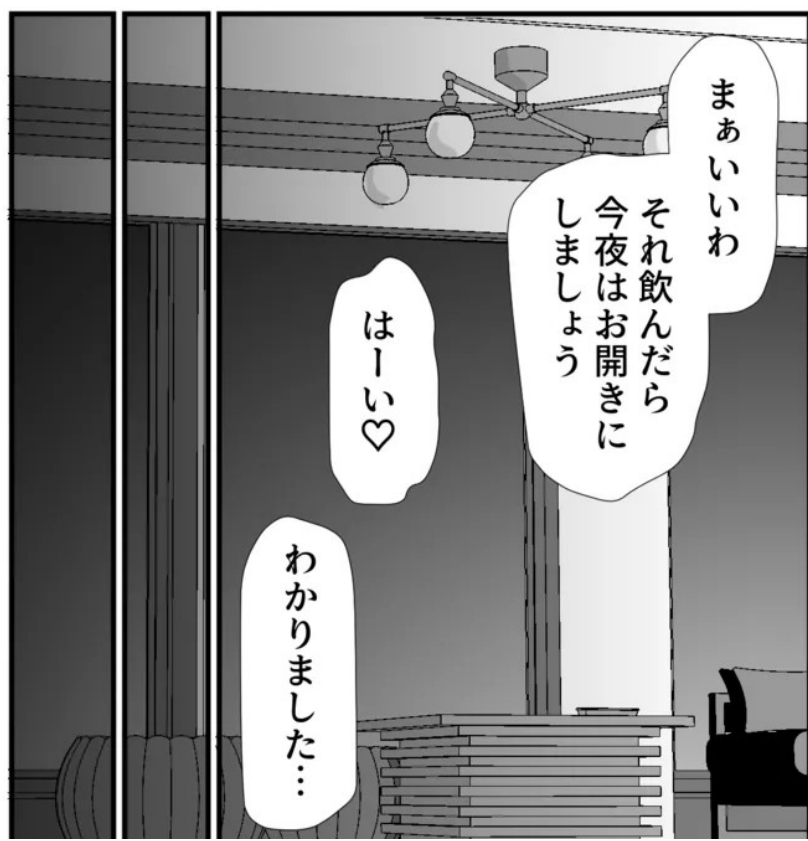
いや…あの…



顔を真っ赤に
してるってことは
図星ですか♡

ち…ちが…

もしかして
2人とも
酔っぱらって…?





……僕は何を
考えているんだろう

あんな言葉
真に受けて…

こんな夜中に
訪ねるなんて…

でも…もし…

もし
本当なら……

ソフィアさん…

は〜い♡

ガ
キ
ャ
ツ

来てくれた
んですね♡



私が人妻だと
知ってても
来てしまった…

その性欲に
抗えない若々しさ…
素晴らしいです…♡



あ…あの…
僕…

いいんですよ
何も言わなくて♡



ふふ♡
もう我慢
できませんか？

それでは
ベッドルームに
案内しますよ♡

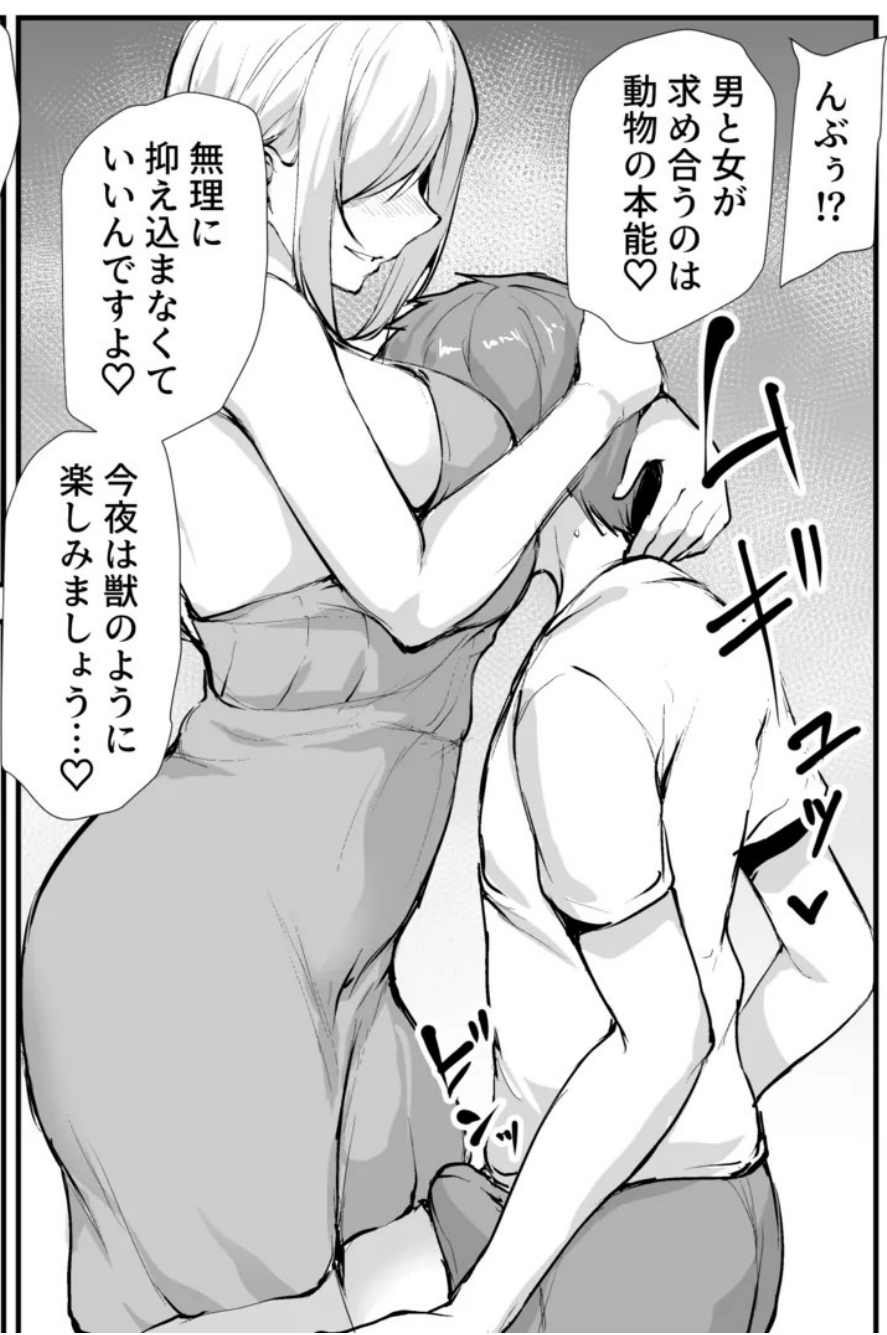
…は…はい



うう…ごめん
千代子さん…

でもこんな
状況じゃ…

お二人とも
お待たせしました♡



んぶう!?

男と女が
求め合うのは
動物の本能♡

無理に
抑え込まなくて
いいんですよ♡

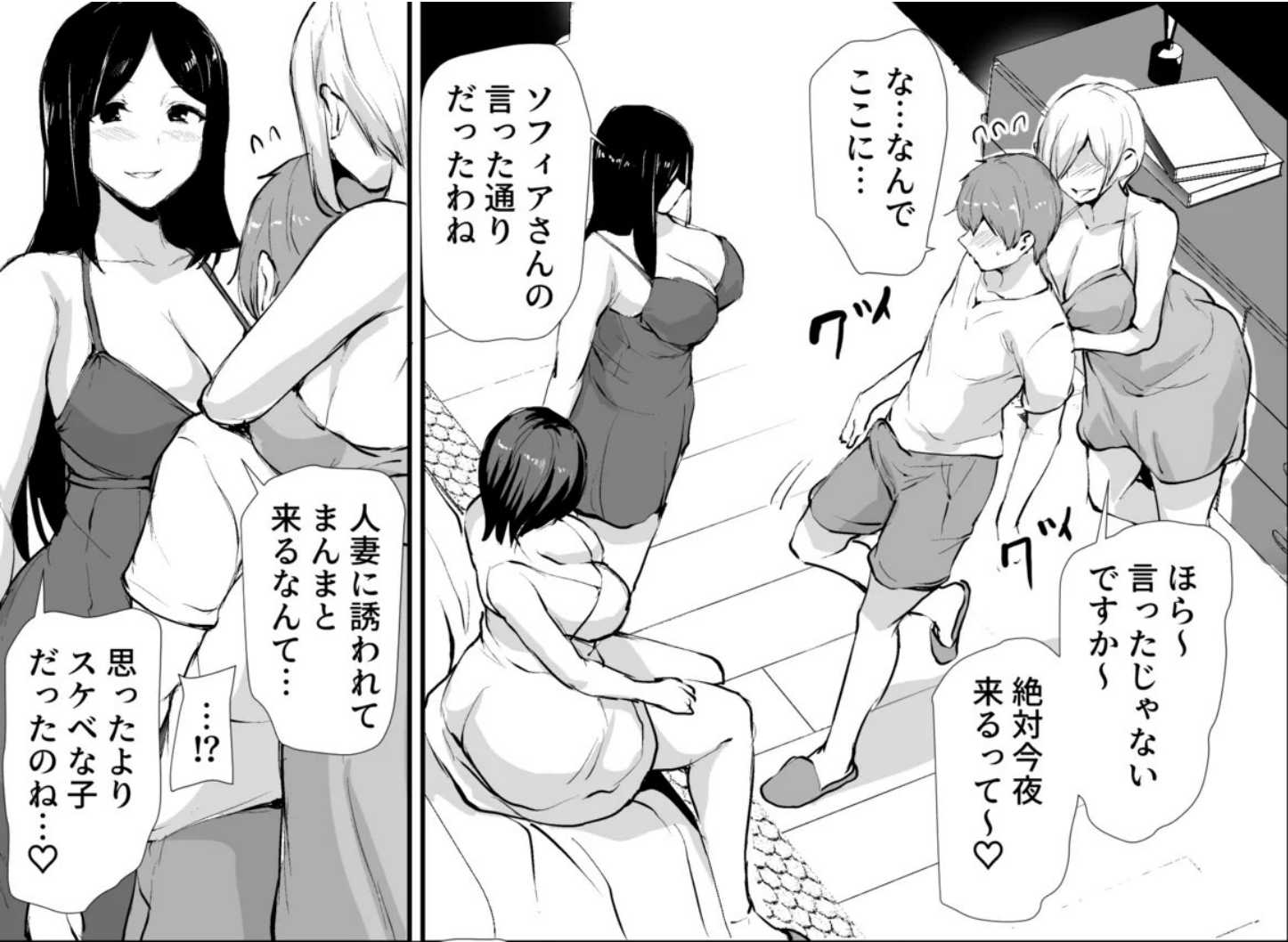
今夜は獣のように
楽しみましょう…♡



美咲さんも…!?

あらあら…
本当に来ちゃう
だなんて…

千代子さん…!?





みんな
貴方とエッチを
するため…♡

欲求不満で
溜まりに溜まった
私たちを…♡

貴方1人で
満足させて
ちょうだい…♡

!?



ふふ…♡

おう…
すっかり大きく
してますね…♡

本当に僕が
3人と…!?

まどか…



ああでも
ここに来たのは
ソフィアさんが
目当てだったかしら？

え!?

それに
初めてで
3人相手なんて
大変よねえ…

私は
2人きりでも
いいですよ♡

スィ

えっ…
そんな…

ギシッ



さっ…3人と…

し…
したいです…

まあ…♡

意外と欲望に
忠実なのね…

うっ…

ハッ



素直なのは
いいことね…♡

あっ…あう…

え…
凄い大き…

わ…♡
見かけに
よらない
です…♡

こんなに
成長しちゃって♡





想像
できますか？
樹さん♡

これから
されるのが
どれだけ
気持ちいいか...





初めてなら
仕方ないですね♡

あ…

あ…

いいわよ♡

一度スッキリ

てやさせなさい…♡

あ…♡

わあ…♡

いっぱい
出しましたね…♡

お掃除して
あげる…♡

あ…あ…
そんな…





貴方の方から
入れてほしいの…♡

私…本当は
攻められる方が
好きだから…♡

…!!

さあおいで…♡



凄い…
反り返って…

ふふ♡

さあ
童貞卒業の
瞬間ですね♡

生のおっぱい
見て興奮
しちゃいました？

ほらここに
入れるんですよ

ズンズン♡

んんっ♡





やっぱり
刺激が強すぎた
かしら？

でも
もうちょっと
頑張って…♡

そうですね
樹さん♡

ほら…おっぱいも
もっと触って♡

大好きでしょう♡

どう…？
柔らかい？

はっ…はい！

せっかくの
初めてなんだから
味わってください♡

ふっ♡





ほ…本当に
出しちゃった…

はぁ

ふふふ…♡

はぁ

私も
中出しなんて
されたの
初めて…♡

えっ…!!?

すごい
気持ち
よかったわよ…♡

おやおや♡

はぁ

はっ



もうこんなに
大きくしちゃって♡

う…

やっぱり
中出しは
興奮しちゃう
んですね♡

それならすぐ
続きが
出来そうね

あらあら♡

じゃあ
休憩なしで
いこうかしら♡

は♡♡





樹さんに
裸にされ
ちゃいました…♡

…!!



まずは
ソフィアさんよ

下着は
自分で
脱がせない♡

は…はい



ほら…ここに
入れたらすごく
気持ちよく
なれるわよ…♡

焦らず
ゆっくり
ゆっくり…♡

ん…
う…う…



ふふ♡
どんな気分?

夫のいる人妻に
こんなことして♡



あああん♡

うああ…!!

あはっ♡

思った以上に…
おっきい
ですね…♡

好きに動いて
いいですよ…♡

ヌルっと
入っちゃった…♡



も...もうイツ...
イツちやいます...!!

ダメよ
我慢がまん♡

あっ♡

あっ♡

そんなんじや
女を満足させ
られないわよ♡

ああっ♡

樹さん...♡
初めての
バックなのに
お上手ですよ♡

あっ♡

それじゃ
そろそろ交代♡

次は
美咲に...♡

良かったわね♡
褒めてもらえ
たわよ♡

ああっ♡



途中で射精
しちゃダメよ？

う…ああ…

男の子
なんだから
耐えなさい♡

優しく
入れてね…

樹くん…

はっ…はい！





あ…で…
出ます…!!

はあ

ううですよう…♡

好きな方に…♡

奥まで
流し込んでっ♡



美咲さんにも
ちゃんと
注いであげないと♡

でもまだ
終わって
ませんよ…♡

とっても
熱くて興奮
しちゃいます♡

はああ♡
これが樹さんの
精液…♡

で…でも
もう…!!



ダメよ
樹君…♡

うっ…

ギョッ
うらやま

美咲さん…!?

私にも精液
ちょうだい…♡

ハァッ



あ…あ…

ギョッ

ま…また
出ちゃう…

あらあ♡
やっぱり
出来るんじゃない♡

グチャッ

もう…♡
それなら
もっと
頑張っ♡

そうですよ
樹さん♡

大勢にこんなに
求められるなんて
滅多にないんですから♡

で…でも
体力が…

結局この日は
気を失うまで
3人とエッチし…

目が覚めた時には
自室のベッドで
眠っていた…

翌日

樹さん
昨日はよく
眠れましたか？

は…はい…

それは
良かったです♡

これで2人で
じっくり特訓
できますね♡

あっああ…

やっぱり
初めてで3人は
ハードでしたものね♡

最初の練習には
私が付き合っ
てあげますよ♡



あの…なんで
僕なんですか…？

出会ったばかりで
こんなこと…

おやおや
美咲さんから
まだ聞いて
ないんですね…？

じゃあ
わけもわからず
エッチしてた
んですか♡

まあそんなに
深い理由は
ありません♡

単にわたしたちは
年下の男の子が
好きな集まりで

仲良しどうし
このマンションに
集まってきた
わけです

そこで一人の
男の子を
皆でシェアして…

あ…イキそう
ですか？

じゃあ話は
この辺で…♡



あっ…あああ…!!

んっ♡

んっ♡
この反応♡

とっても
可愛いですね♡

ゆっくり…
じゅっくり…

出し切るまで
入れてて
いいですよ…♡

あ…あ…あ…

はは…!!



ソ…
ソフィアさん…
僕…

わかってますよ♡
まだやり足りない
んですよ♡

大丈夫です…♡
私はずっと
空いてるので
日が沈むまで
やりましょう…♡

スリ♡
スリ♡

ハッ

ちゅ♡





ごめんなさい…

まさか帰ったら
貴方が待ってて
くれるなんて…



う…嬉しくて
興奮しちゃって…

やっぱり…
このままで
いいかしら…?



美咲さ…





私たちが
どういう性癖か…
ソフィアさんに
聞いたみたいね

千代子さんの
提案で…

そういう男の子を
住ませて共有できる
環境を作る
ことにしたの

それがこの
マンションで…

貴方が住む対象に
選ばれたわけ…

…!!



なにせ…
んんっ♡

私の初めてを
捧げる相手
なんだもの…♡



よっぽど
貴方のことを
信頼してたのか…

私も写真を
見た時から
気になってたわ…

そう…
だったんですね



それって…

うっ…!?



今日は
2人きり
だから…

色々
試したいの…♡



急に
締め付けが…!!

美咲さん…!?



ちよつと
カんだだけなのに…♡

可愛い反応
するのね…♡

そん…な…
うああ…!!

私でいっぱい
特訓してね…♡



とても…
気持ちよかったです…

うっ…

2人との
エッチは



それで…
どうだった？

ちゃぽ…



でも…
2人としての
想像してたら…

あう…！

私もなんだか
妬けちゃって…♡



純粹に2人とも
仲良くなって
ほしいから
ああして会って
もらったのよ

フスッ

そう
よかった♡

エッチの
訓練も大事だけど

ちゃぽ…



だから
特別なこと
してあげる♡

あ…あ…

そう…
だったんですね…

ありがとう
ございます

ちゃぽ…





貴方とこんな
ことが出来る
ようになるなんて♡

ほんと…
夢みたい♡

あっ…ああ…!!

ぼ…僕もです…!!

千代子さんのこと
ずっと好き
だったから…

まあ嬉しい…♡

私もずっと
好きだったのよ♡
だから貴方のために
このマンションを
作ったの♡



えっ!?

本当はみんなの
ためじゃなくて
貴方のため…♡



毎日毎日…♡

代わる代わる
色んな女と
セックス…♡

うっ…うう!!

夢みたい
でしょう?



想像したら
興奮しちゃった？

可愛い子…♡

でもこれじゃあ
まだ他の女性の
相手はできないわね…

明日から
特訓しないとね…♡

えっ!?

それから…

僕は毎日
千代子さんたち
3人と代わる代わる
セックスをした…

朝は千代子さんの
フェラで目を覚まし

その後は
そのまま
セックスに
なだれ込む…

千代子さんが
仕事を始めるまで
何度も何度も…

日が沈むまで
ひたすら
セックスの練習…

色々と教えて
くれたけど
僕はされるがまま
搾り取られた
だけだった…

お昼は
ソフィアさんの
家にお邪魔し…



美咲さんは
目隠ししたり
道具を使うのが
好きみたいで…

普段のクールな
印象とのギャップで
僕はより興奮
してしまった…



夕方は帰宅した
美咲さんと…



そして
週末—

4人揃うのは
久しぶりですね♡



おやおや
もう準備万端
ですね♡

ふふふ♡
若いわね♡
いいわね♡

今日は沢山
サービスして
あげる…♡



私たちも
ドキドキ
してるのよ♡

えっ

だってこんな
恰好でエッチなんて
初めてですもの♡

キゅん
ほら…♡

あ…あわわ…

んんん♡

ドキドキ
聞こえるかしら？

キゅん

あらあら
固まっちゃった…♡

樹さん
どうですか♡

いざ♡

息が荒い…

興奮してるのね…♡

それじゃあ
ローションを
追加して…♡

ふふ♡

ギン

キゅん

んんん♡

フム
あ…あ…
だ…だめ…

可愛い♡
女の子みたいな
声出してる♡

はあ

もう…
そんなんじや
最後まで
出来ないわよ?

ほら
舌出して♡

う…

樹さん
よかった
ですね♡

あわわ…

もうすっかり
カチカチ
ですね♡

じゃあ
入れちゃおっか♡

力抜いて
樹くん…♡



ねえ、まだ
イッチやだめ♡

あ…あ…
千代子さん…

イキそうに
なったら
交代するからね♡

んっ♡
ガクガク
震えてる♡

かわいい…♡

えっ♡
もう交代？



さあ
次はワタシの番
ですよ♡

まだまだ
我慢よ
樹君♡

千代子さんとの
違いを味わって
くださいね♡

あ…あああ…

ふふ♡
どうですか？

ゆっくり
出し入れも
気持ちいい
でしょう？

おっともう
イキそう
ですか？

まだまだ
修業が
足りませんね♡



次は私…

いつも2人で
してるみたいに
リラックスして…

緊張すると
勃ちが
悪くなるからね…♡

へえ♡
2人きりだと
違うんですね♡

あゝもしかして
イッちゃった？

もう
いけない子…♡

これは
オシオキが
必要ですね♡

ズン♡

ん♡

ん♡

ア♡

ハ♡

は♡

あ♡

グン♡

グルル…

グン♡

ん♡

ビク♡

あ♡

グルル♡

フ♡

フ♡



あぁっ♡
気持ちいい…♡

えっ…!?

それじゃあ…
オシオキの
内容はあ…♡

私たちが
いいって言うまで
射精我慢すること♡

言ったでしょ…
これは特訓だって…♡



私たちは
面接みたいな
ものです…♡

もっと
色んな人と
セックス
するために…♡

経験を
沢山積んで
ください♡

うう…





はあっ

はっ

樹さん
今度は長続き
してますね…♡

ダメよ、
私たちが
イイって言うまで
射精はお預け♡

千代子さん…!!

僕…もう
限界です…!!



は…早く
射精させて
ください…!!

我慢
我慢…♡

気持ちよく
射精できるように…♡

んっ♡

トト♡

ソフィアさん
まで貯めて
おきなさい♡

うう…
美咲さん…!!

私も
気持ちよすぎて
手加減できないの♡

目いっぱい
締め付けちゃうね…♡

ごめんね
樹くん…♡

うううう…!!







よく
頑張りましたね…♡

今日はこの辺に
しておこうかしら…♡

明日も
ありますからね…♡

これからも
毎日気持ちいい
ことしましょうね♡

そうね…
明日も明後日も…♡



ふふ…♡

おやすみなさい
樹君…♡

フム



後書き

お買い上げありがとうございます。立花オミナです。

今回は総集編を除くと、実に一年ぶりの新刊となりました。

本当は夏から秋くらいには出したかったのですが
今年は色々とありすぎて冬の時期に出すことになってしまいました。

さて、今作は新シリーズということで
女性専用マンションで居住者全員と関係を結ぶ話にできたらと考えています。

過去の商業作品でも似たようなものを書きましたが、あちらに比べると規模は抑えめです。
それでも最後まで実現したら、結構な人数になりますが。

一応続けられるように終わらせましたが実際のところ反響次第なのでどうなるか…
…とりあえず祈っておきます。

今年はバタバタしていましたが
2026年はもう少し落ち着いて新刊を出していきたいと考えています。

直近だと、支援サイトで更新しているシリーズのまとめ本、
次に異世界新作という流れで、夏までにはやっていきたいと思っています。

次こそは年2冊以上出せるようにしたいですね。身体壊さない程度に頑張ります。

それではまた次回の作品でお会いしましょう。
ありがとうございました。

立花オミナ

奥付

女性専用マンションに -The Only Man in a Ladies' Residence- 若い男は僕一人

2025年12月24日 第1刷初版発行

著 者 立花オミナ
©Omina Tachibana 2025

発 行 しまぱん
連絡先 shima-pan@hotmail.co.jp
印刷所 西村謄写堂

各種リンク



表紙着色 たつか (Do well!!!!)
デザイン 水瀬 修 (DROP DEAD!!)

●無断転載・ネットアップロード・18歳未満の閲覧を禁止します。
この物語はフィクションであり、実在の人物・団体とは関係がございません。

